八回目を迎える新・名取寄席は〈話芸×話芸〉。 『音曲の司』と言われて人形浄瑠璃や 歌舞伎を支えてきた浄瑠璃【義太夫節】。 人々に身近に寄り添い、 一世がら長~いお付き合いを続けてきた酒話芸が 古典落語の名作『寝床』をテーマに では、話芸〉。

義太夫節・三味線

鶴澤賀寿

落部の海海の神経

<sub>令和3年</sub> 2月28日回

新

名取寄席

part 8@y

館

14:00開演 13:30開場

古今亭菊之丞

ますます充実の 新・名取寄席シリーズ。 義太夫節からは、 若手ホープ 竹本京之助・鶴澤賀寿。 そして落語は、 NHK大河ドラマ 『いだてん』でお馴染み、 あの古今亭菊之丞師匠が登場!

会場

名取市文化会館 小ホール

出演

古今亭菊之丞(落語) 竹本京之助(義太夫節·太夫) 鶴澤賀寿(義太夫節·三味線)

竹本京之助

▲祭志口

シーパイン友の会先行予約 2020年12月5日(土)9:00~ 一般 2020年12月12日(土)10:00~

◆チケット 全席自由

シーパイン友の会:3,000円/一般:3,500円/

学生(大学生以下):1,500円

※未就学児入場不可

※木杁子九八場です ※学生席は名取市文化会館窓口にてお求めください。(要・学生証)

▲プレイガイド

名取市文化会館/名取駅コミュニティプラザ/藤崎/ ローソンチケット(Lコード:22110)/チケットぴあ(Pコード:503-953)



乞うご期待!

主催:公益財団法人名取市文化振興財団 後援:名取市/名取市教育委員会 協力:イオンモール名取 制作協力:古典空間 ◆お問合せ 名取市文化会館 022-384-8900

落語

## 1今亭 菊

テ
朝
之
永

東京都出身。1991年 古今亭圓菊に入門、前座名 菊之丞。1994年 二ツ目に昇進。1998年 北とぴあ若手落語家競演会にて北とぴあ大賞受賞。2002年NHK新人演芸大賞落語部門大賞受賞。2003年 真打に昇進。2013年、第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞(大衆芸能)。2017年 第71回芸術祭賞優秀賞受賞。2019年 NHK大河ドラマ「いだてん」落語監修、江戸ことば指導をしながらも六代目金原亭馬生役として出演(第22話)。ほか現在、テレビ・ラジオなど多数出演。2020年(一社)落語協会理事就任。

「江戸・明治を感じさせる噺家」といわれ、音曲 噺にも定評がある。



義太夫節

# 太大竹本京

東京都出身。舞台女 優活動中に、人間の 宝・竹本駒之い、そして入門。2006年国 立演芸場にて初ま 台。2015年義賞 協会新人奨励賞



賞。定例公演「女流義太夫演奏会」、若手演奏会等に出演。その他、文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」や東京都、アーツカウンシル東京の主催事業などに数多く参加。ワークショップなどの次世代への普及活動にも積極的で、何より華のある舞台に期待が寄せられている。

三味線一鶴澤

大阪府出身。(一社) 義太夫協会が主催する義太夫教室終了後、 竹本駒之助に入門。 1998年 国立演芸場 で初舞台。2004年 義 大夫協会新人協会新人協会 大夫協会のた



賀寿

定例公演ほか、文化庁主催「文化芸術による子供育成総合事業」、アーツカウンシル東京主催事業などに数々出演。ロシア、アメリカほか海外公演にも参加。「物語としての義太夫節」に着目した解説や、初心者・子供・外国人を対象にした義太夫節の普及活動を積極的に行っている。

浄瑠璃とは、太夫と言われる語り手が三味線と共に物語を「語って聞かせる」芸能ジャンルです。浄瑠璃にはいろんな種類がありますが、何と言っても浄瑠璃を代表するのが「義太夫節」と言えましょう。日本の伝統芸能を代表する人形浄瑠璃・文楽、そして歌舞伎…ともに「義太夫節」がないと幕が開きません。

太棹三味線の響きと、全身全霊で「語る」表現力は圧倒的!脳裏に"絵"が浮かび、聴き手の心を鷲掴みにするのです。

### アクセス トトト

- ■仙台空港アクセス線「杜せきのした」駅より徒歩8分
- ■JR名取駅より徒歩17分
- ※タクシーをご利用の場合はJR名取駅が便利です。
- ※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせて ご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。

### お問合せ▶▶▶

## 名取市文化会館 TEL 022(384)8900

(第1・3火曜日を除く9:00~18:00) 公益財団法人名取市文化振興財団

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田520番地 FAX 022(384)6684 http://bunka.natori.or.jp/





